



広報

にのみや

第289号 発行日 昭和62年1月1日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画課 二宮961番地 電話71-3311

二宮町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

「しし舞い—飛躍の年に向かって」 高瀬有季さん(二宮中学校一年)の作品



年立ち返る

謹賀新年

ご家族様へ
 明けましておめでとうございます
 今年も変わらぬ御愛顧のほどお願い申し上げます
 昭和62年元旦
 二宮町長 柳川賢二



二宮町議会議長
里山 馨



二宮町長
柳川賢二

(年立ち返る=新年を迎えること・広辞苑)

謹賀新年

旧年中は格別御厚情を賜り有難く御礼申し上げます
 本年も相変わらぬ御愛顧のほどお願い申し上げます
 昭和62年元旦
 二宮町長 柳川賢二

『をめざしてパイプづくり』



司会 では最初に身近なことからどうぞ。
宮戸 町長お孫さんは何人ですか？お忙しいでしょうけれど、日曜にはやはりお孫さんと遊ぶのが楽しい……。
町長 今、内孫一人です。一歳三か月かな？外孫が4人。全部男ばかりです。
日曜日は家に居ることがないからね。(笑い)遊んであげる時間がないんですよ。それでもね、孫は朝起きると私の所にちょこちょこ歩いてきてね、私が菓子をやるともんだから、でも菓子を貰うともう、パイプと行ってしまふ。(笑い)
井上 ストレスの解消についてはいかがですか？
町長 夜になると仕事のことは一切忘れて、これに関与しない

昭和六十二年の年頭にあたり、「開かれた町政をめざして」というテーマで町の皆さんと町長による座談会を企画しました。和やかな雰囲気の中に、鋭い意見も飛び出した約二時間半の模様を紹介します。
また、おそろく町には、町長は固くてつつきにくいという印象を持つ方もいるでしょう。しかし開かれた町政は、町長個人の魅力に負うところも大きいと思いますので、座談を通して町長の素顔も見ていただければ幸いです。(広報編集委員会会長・森 徳好)

健康のひけつは？



宮戸 健康面で注意していられることはありますか？

町長 健康はね、四十一歳の時に胃腸を大分こわして以来、結構管理をしているんですよ。色々あるけど牛乳は家の物だから年中三合(五四〇cc)を必ず飲むんです。それと薬用酒。これ

宮戸 鎌之助さん

町長 健康はね、四十一歳の時に胃腸を大分こわして以来、結構管理をしているんですよ。色々あるけど牛乳は家の物だから年中三合(五四〇cc)を必ず飲むんです。それと薬用酒。これ



永井 弘美さん

町長 若い時に剣道をやっていましたし、それから相撲もやりだした。当選してから八年ぐら

を毎日コップ三分の一ぐらい飲むんだ。それが私の一番の健康の秘訣です。
永井 大分姿勢がよろしいよう



二見 敏夫さん

二見 自分たちの年代ですと、二宮町に就いてから関心はないんじゃないかと思えます。友達に聞いても、また自分のこと

町長 他によろしいですか？では、本題に入りたいと思います。最近特に住民参加による行政が、各地で望まれているよう

町長 夜は大体十一時に寝て、



遠藤 一男さん

いと気が済まないというのが私の性格でね。今年はちょっと遊んでやるかなという気にならな

町長 前は見出しだけを読んでいると言っていた人が多かったけど、最近、多少読んでもらえるよう

町長 前は見出しだけを読んでいると言っていた人が多かったけど、最近、多少読んでもらえるよう

町からの情報は

井上 私は電気店をやっています。が、今の若い方は画面から情報を受け取ることが非常に多いと言います。例えばCATVなど、若い方は関心が強いよう



井上 義秋さん

二見 実際、読むことより、聞いたり、見たりする人が多いです。

永井 やはりお勤めしている方々も、時間に余裕がなく



野地 康子さん

めてっちゃうと、そういう言い方をされるから私も少し頭にカチンときちゃうんです。(笑

野地 私町の情報と言うのは、広報紙からだけなんです。それで自分たちも町のことを知る努力をしなければいけない

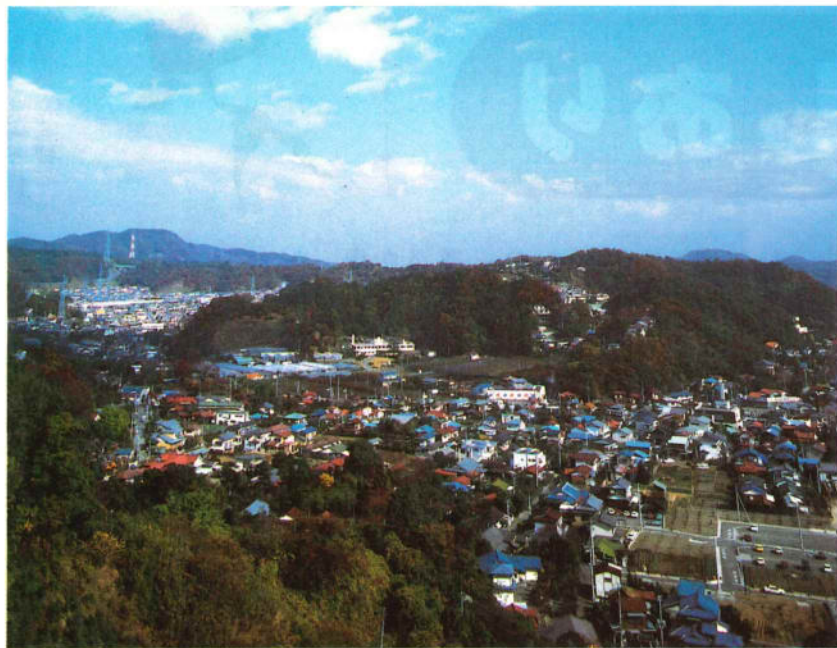
野地 こうやって町長さんから生でお話を聞くと、間接的に知るのは、説得力が違いま

町長 結構やっているんです

野地 でも私はこういう機会が初めてでしたので。あの、そうしていただきたいと思います。

小泉 今まで皆さんのお話を聞いていて、町政の情報を何で得るかといった時にやはり広報紙である。我々も重大な責任を感じました。編集委員会

取材的なことも広報紙に載せて



いきいきとした町

—町民参加による—



◆出席者(敬称略)

二見 敏夫 酪農業
(川勾・昭和37年生)

野地 康子 主婦
(山西・昭和22年生)

永井 弘美 主婦
(富士見が丘・昭和22年生)

井上 義秋 電気店経営
(一色・昭和20年生)

熊沢 澄子 主婦
(二宮・昭和8年生)

遠藤 一男 元学校長
(川勾・大正13年生)

宮戸 謙之助 元区長
(山西・大正4年生)

柳川 賢二
(町長)

森 徳好
(広報編集委員会会長)

小泉 孝之
(広報編集委員会副会長)

◆司会
池田 啓介
(企画課長)

司会 では今度は町が皆さんから広く意見を聞く、「広聴」というんですが、今後どうやって皆さん方からの意見、要望を聞いていったらいいかを話していただきたいんですけれど。

宮戸 私は、「町—区長—組長—住民」という組織が町にはきちんと出来ていると思っているんですが。

永井 住民が直接行って、なんでも言える所があると本当にいいと思うんですけど。そういう所があればやっぱりここに住んで良かったなという気持ちも出てくると思うんですね。特に、古くから住んでいらっしゃる方はそれなりに伝達手段を心得ていると思うんですが、他から来たものにとっては、どこに何を言ったらいいのかわからないんですよ。

遠藤 私のよその経験なんですけど、普通の人間が普通にいくとなかなか思うようにいかずに、特定のひとと簡単に出来る。

のはね、おもしろおかしく書けないところがある。あくまでも町が行うべきことを住民の方に全部知ってもらおうというところで出しているんです。ですから広報紙を興味を持って読んでいただけたらいいのはそれ

て新聞を読む程度が精一杯のようなんです。ですから、例えば二宮駅の一部分を使って、町の行政の状態を、通勤帰りの動きさかりの男の方にも知ってもらおうということですね。画面を使って通りながら見られる、そういう

にもお互いに住み良い環境の町に作り上げて行くというのが内容なんです。それを、開発即反対だとか持っていられると仕事が出来なくなっちゃうんだ。そのうえ、町長はワンマンだから何でもかんでも自分一人て決

開かれた町政のために

と、いうことが度々あったんです。もちろん、個人の意見という行政から見たら非常に無理な要求もあると思うんですが、でも出来ない物は出来ないでいいんです。出来る物について、いままぐ出来るんなら一番いいんですけど、検討していつか実現しますと、そういうことを聞けばいいわけですからね。一番言いたいのは、人が違っても違ってもうんじやあ非常に困ると言うことなんです。今まで二宮ではそういう経験はないんですが。

永井 真心のこもった優しい対応の出来る方がいらっしゃる窓口があると安心して住んでられると思います。

町長 そのことですね。今から八

と、いうことが度々あったんです。もちろん、個人の意見という行政から見たら非常に無理な要求もあると思うんですが、でも出来ない物は出来ないでいいんです。出来る物について、いままぐ出来るんなら一番いいんですけど、検討していつか実現しますと、そういうことを聞けばいいわけですからね。一番言いたいのは、人が違っても違ってもうんじやあ非常に困ると言うことなんです。今まで二宮ではそういう経験はないんですが。

永井 名前を入れない場合もあるでしょうね。

野地 広報紙に質問コーナーがあっても必ず返事をしてくださるようなものとか。

熊沢 直接役場に出向いて質問するということになりまして

所で自由に言いたい事を言い、また町長も説明する。そんな状態になればいいと思います。

永井 特に、新しく町民となられた方ね。

司会 町長、いかがですか。



町長



施設を作ること追われてきまして、これからは行政の内容、中身をもっと充実することにも力を入れていきたいと考えています。

これは、すべて町民皆さん方のご理解とご協力がなければ一歩も進みません。先ほどの広報・広聴活動を通して皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

司会 では最後に町長、新年の心構えをどうぞ。

町長 信頼と清潔と実行、これだけです。ただ、私も二宮に生まれ、住み、一生を終える運命です。何とか二宮町を素晴らしい住宅地に作り上げられないか、その一心で十七年目を迎えることが出来ました。最後まで町づくりに尽くしていきたいと思っています。

司会 皆さん、今日はどうもありがとうございました。

住民の意見はどこへ

「九年前に松戸市が「すぐやる課」を作った時に、二宮町も作りたい」という意見があった。しかしその課を作るよりも、各課長を含め職員がそういうものを受けなければ返事をしあける。そして、出来るものは直ぐにやるという方向で各担当には言っている。担当で応答が得られないなら、私に直接電話をかけてくださって結構です。(笑い)ただし匿名は一切だめですよ、必ず名前を言ってもらいたいことね。

ね、皆さんの目が気になると思うんです。だから私はかえって役場に投書箱があった方がいいと思いますけれど。昔の目安箱じゃないですけど。(笑い)



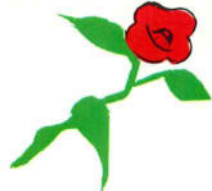
熊沢 澄子 さん

野地 さっきも言いましたけれど、町長が直接住民と話をする機会がいっぱいあって、その場

座談会では、出席者から今年の事業などについて町長に質問も出ています。詳しくは来月(2月)号で紹介します。お楽しみに。



くらしのしおり



佐藤シマさん(山西)
の作品(左も同じ)

今年は卯年

十二支の四番手

ウサギは身近な動物で、いまでも野生のウサギをよく見かけますし、食肉用、毛皮用、ペットなどとして広く飼われています。

また、昔からあるいろいろな物語にもウサギがよく登場しています。イソップ童話の「ウサギとカメ」や、日本の昔話の「かちかち山」(因幡の白ウサギ)などが有名です。さてみなさんは、これらの物語に登場するウサギについてどんなイメージをお持ちでしょうか。

「ウサギとカメ」のウサギは、油断して寝てしまつたので、自信家、それとも

なまけ者。「かちかち山」はおいしいもののために敵うちをすめるので正義の味方になっていきます。しかし、それにしてはタヌキをだまして背中にやけどを負わせたり、その傷に唐辛子を塗ったり、泥船に乗せたり……、ちょっと残酷すぎるようです。「因幡の白ウサギ」は知恵を働かせてワニザメをまんまとだましたつもりが、皮をむかれて赤裸になつてしまします。こうして見ると、ウサギに対するイメージはいろいろのようです。

生物学的に見ても、ウサギはなかなかのしたたか者です。砂漠、草原、森林、高地

食べて反すつ(一度飲み込んだものを再び食べる)の代わりをする習性があります。また事典にはウサギの飼育は容易で、飼育箱は幅・奥行六十センチ、高さ四十五センチあればいいという意味のことがでていました。なるほど、これが例のウサギ小屋の由来かとうなすいた次第です。



歳時記

宝船

「なかきよのおのねぶりのみなめさめ、なみのりぶねのおのよきかな」この歌は、上から読んで、下から読んで同じです。こういうのを回文歌と言います。

江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。

正月には宝船売りが、「お宝、お宝」と言いながら絵を売り歩きまわつた。明治時代になつてもこの風習があったそうです。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っています。

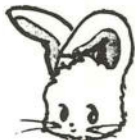
七福神とは、恵比寿、大黒天、弁財天、豊紗門天(ひしゃもんてん)、布袋(はてし)、福祿寿(ふくろくじゅ)、寿老人(じゅろうじん)を言います。

面白のは、この顔ぶれは、神さまと仏さまがまざっていることです。最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれま



したが、正月の七福神もうでは盛んです。この時のもつての所が、神社と寺と両方まわっています。しかも、たとえば大黒天が神社に祭られていたり、寺に祭られていたりのが狙いです。日本は、開港場上陸の居住問題の解決に協力すると同時に、日本の居住環境の向上にも力を入れなければなりません。

ところで、一九八七年は国際連合で決議された「国際居住年」です。西暦二〇〇〇年に向けて、世界各国の居住環境の改善をすすめていくことが狙いです。日本は、開港場上陸の居住問題の解決に協力すると同時に、日本の居住環境の向上にも力を入れなければなりません。



おしらせ

◆保育園の入園案内について

昭和62年4月1日から保育園へ新たに入園を希望される方、又は引き続き入園を希望される方のために次のとおり受付をします。

園名	受付日	時間	定員
二宮保育園	1月19日(月)	14:00~17:30	90名
梅花保育園	1月20日(火)	"	90名
二宮愛児園	1月21日(水)	"	57名
みちる愛児園	1月22日(木)	"	60名
百合が丘保育園	1月23日(金)	"	90名

◆指名競争入札参加願いを受付

対象業種 工事全般、造園、測量、設計、コンサルタント、地質調査、工事用機械及び製品
受付期間 2月2日から2月28日まで
受付場所 建設課監理係
提出方法 持参に限る
書類の有効期間 昭和62年4月1日から昭和64年3月31日(内線三三五)まで



催し物

◆成人祝賀式

とき 1月15日(木)午前10時
ところ 町公民館
内容 成人祝賀式典、記念

かない場合や成人式について
の問合せは、教育委員会社会教育係(内線三三五)まで
◆消防出初式
新春恒例の出初式を次により開催します。



募集

◆まちづくりのつどい
としの運動十周年を記念して開催します。
とき 2月19日(木)午前10時から午後3時30分
ところ 平塚市中央公民館
テーマ 「ともに生きる町をつくる」 住民・民間活動の



案内

◆運転免許更新講習会

とき 1月8日(木)午後6時から(受付は午後5時30分)
ところ 社会福祉センター大ホール
もちもの 運転免許証
問合せ 大磯地区交通安全協会(電話一三三〇)まで

編集室

◎この「広報にのみや」は、元日の新聞に折り込みました。ご近所や知り合いで、届いていない家庭がありましたら、企画課までご連絡ください。

写真を差し上げます

本紙掲載写真に写っている方は、企画課企画係(内線三三四)へご連絡ください。無料。

町の人口(人口統計より)	12月1日現在	前月と較比
人口総数	29,043人	-18人
男	14,308人	-11人
女	14,735人	-7人
世帯数	8,561世帯	+11世帯

今月の納期

町・県民税(第4期分) 1月31日まで
国民年金保険料(1月分) 1月25日まで
国民健康保険税(第5期分) 1月31日まで

87' 明けましておめでとうございませう。
二宮町広域編集委員会
会長 森 徳好
編集委員一同